

トグル® 案件紹介 (男鹿市庁舎耐震補強工事)

秋田県男鹿市の庁舎にてトグル制震構法とディスクシアキーが採用されました。ポイントは、庁舎正面デザインを維持した裏側施工です。

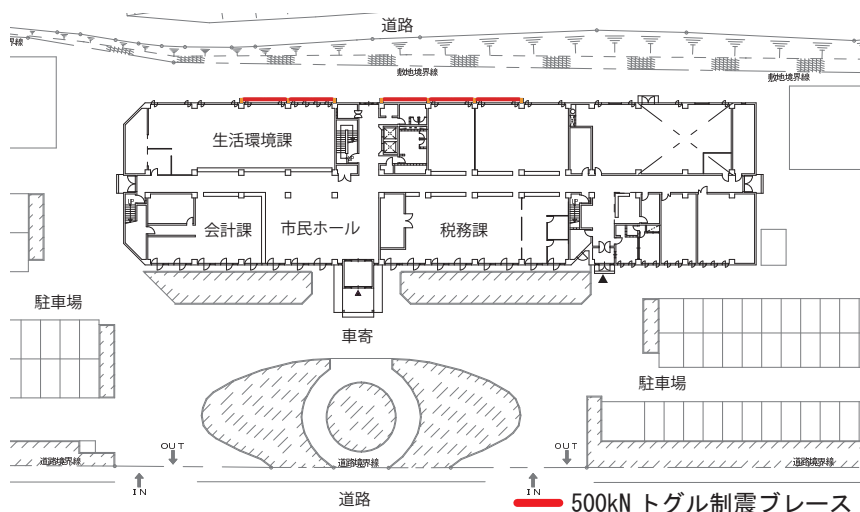
所在地	秋田県男鹿市
工期	2014年12月～2015年8月
構造・階数	RC造、SRC造・地上5階、地下1階、塔屋2階
延べ面積	6,940㎡
建物用途	庁舎
設計	(株)草階建築創作所
施工	(株)沢木組
DSK仕様	ボルトタイプ外付け
DSK本数	927本



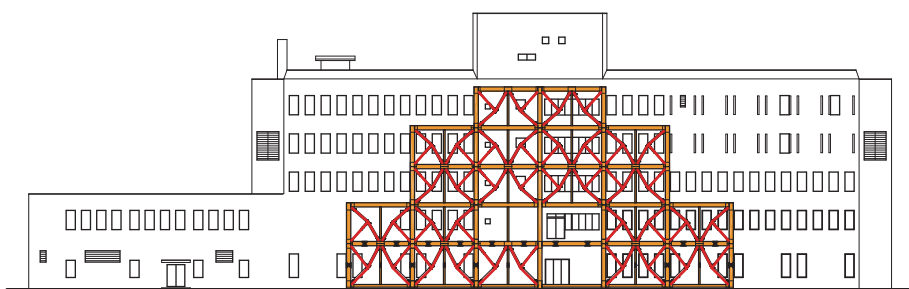
トグル基数：38基
外ベタ

500kNタイプ × 19基

- 5F：2枠
- 4F：4枠
- 3F：4枠
- 2F：4枠
- 1F：5枠



配置図兼 1F 平面図



北立面図

設計者様コメント

工事中の建物使用と正面デザインの維持を条件に北面片側配置の検討を行いました。その結果、偏心の影響も確認し、トグル制震ブレース構法の採用となりました。

屋外露出となる鉄骨部材については、亜鉛メッキ処理の他に一部新規に技術導入した重防錆塗装を採用し、長期的に錆による不具合の防止を図っています。又、間接接合部材にディスクシアキーを使用することで、騒音、粉塵の低減を図り、工事中の環境に配慮しました。



北側 (トグル施工あり)



南側 (トグル施工なし)